

再 評 価 書

事業名	桑名市総合運動公園	事業区分	都市公園事業	室 名	桑名市都市計画課
事業概要	工期	H4年～H26年	全体事業費	11,810百万円（負担率：国0.3：市0.7）	
	（下段：当初）	H4年～H21年	（下段：当初）	12,500百万円（負担率：国0.3：市0.7）	
事業目的及び内容					
<p>桑名市民の運動・レクリエーションに対する要望や、隣接する大規模ニュータウンの住民の日常的な利用に対応しながら、子供から高齢者まで利用できる生涯スポーツ実践の場として緑豊かな自然環境を活かした公園の整備を行うものです。</p> <p>全体事業計画期間につきましては、平成4年度から平成26年度までの23年間で、全体事業費は約118億1千万円で計画しております。平成4年に平成4年度から平成21年度までの事業認可を受け、事業を推進しており平成17年度までに12.4haについて供用開始しております。</p> <p>事業概要 整備面積 28.0ha</p> <p>施設内容 （供用済）第1工区：テニスコート、クラブハウス、第3工区：多目的運動広場、デイキャンプ場など （未供用）第2工区：サッカー場、駐車場、第4工区：屋内プール、体育館</p>					
事業主体の再評価結果					
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成13年度の再評価実施後、一定期間が経過し、なお継続中ですので三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。また、平成16年12月に桑名市、多度町、長島町の1市2町の合併に伴い、全市としての運動施設の配置状況に変化があり、中でも野球場が隣接する配置状況となったため、前回の再評価時点の計画に対して、現状を踏まえた見直し方針を承認していただくために行うものです。</p>					
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み （事業の進捗状況）</p> <p>平成13年度における再評価時においては、宿泊研修施設、レストハウス等の廃止により全体事業費を125億円に縮減して事業を継続しております。さらに、今年度の計画見直しにより、全体事業費は、約118億1千万円となっています。内訳は用地費が37億8千万円、整備費は80億3千万円となっております。平成17年度末の事業の進捗状況は、用地費28億8千万円（進捗率76%）を取得し、整備費37億1千万円（進捗率46%）となっており、第1工区と第3工区の整備はほぼ完了し、供用を開始しております。</p> <p>（今後の見込み）</p> <p>用地買収は今年度から平成20年度までの3年間で完了し、平成19年度から平成26年度までの8年間で第2工区、第4工区の整備を進め、第2工区から供用開始できるように計画しております。</p>					
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>（1）市町村合併による運動施設の配置状況の変化</p> <p>平成16年12月の1市2町の合併により新桑名市となり、全市的な運動施設の配置状況を整理した結果、専用野球場と多目的運動広場を有する「アイリスパーク」が本公園に近接する状況となっております。</p> <p>（2）スポーツニーズの動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な動向 <p>2005年時点のスポーツ実施率は、成人（水泳、スキー、野球）、青少年（サッカー、バスケット、水泳）となっております。成人の「水泳」青少年の「サッカー」は高いニーズがあります。</p> ・地域的な動向 <p>新桑名市のスポーツ競技人口は、サッカー、テニス、軟式野球、バスケットボールの順となっております。2003年から2005年の推移では、軟式野球を除き大きな変動はなく、サッカーは高い水準で安定的な推移を示しています。</p> <p>また、市民活動の中には、桑名市サッカー協会が今年の5月に本公園にサッカーグラウンドの建設を求める署名活動を始めることが中日新聞（北勢版）で報道されています。</p> <p>第60回国民体育大会において三重県はサッカー、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、ハンドボールが入賞しています。</p> 					

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4 1 費用対効果分析

平成 13 年度の再評価では B/C は算定しておらず、今年度の計画見直しにおいては B/C = 1.21 の結果を得ております。

4 2 地元の意向

- ・桑名市サッカー協会から専用サッカーグラウンド整備の要望書が提出されております。
- ・平成 17 年 10 月にまとめられた桑名市のまちづくりを考える市民意識調査結果では、スポーツ振興に関する自由意見として、プール・体育館の整備を求める意見数が全意見数 12 のうち 8 となっています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5 1 コスト縮減

- ・本公園のグラウンドゴルフ場の日常的な維持管理についてアダプトプログラムにより桑名市グラウンドゴルフ協会が協働することとなり、維持管理費のコスト縮減につながります。
- ・播磨中央公園でのせせらぎの清掃は地元住民と官民協働で行う取り組みが行われているので、本公園のせせらぎについても同様の活動も期待でき、維持管理費のコスト縮減の可能性があります。
- ・疎林広場においては、市民の記念植樹ゾーンとして位置づけており、植栽植え付け費用のコスト縮減が図れるとともに、公園づくりへの市民参加が図れます。
- ・「エコロジー緑化技術マニュアル（幼苗植栽技術の手引き）平成 9 年（財）日本緑化センター」に基づく大幼苗植栽を用いた緑化による植栽工事費の低減、および地力の増進と植物の生育を促進する肥料木の導入により、維持管理費の低減を図ることが可能となります。

5 2 代替案

事業手法、規模見直し等の代替案の可能性はなく、見直し計画を進めることが妥当であると判断しております。

評 価 の 経 緯

当事業は平成 13 年度に答申された再評価審査委員会の意見に対応を次のとおり行っています。

1．防犯、安全面に対する配慮

回復緑地については、樹木の本数を減らした疎林広場とすることで、見通しを確保しつつ周辺の自然環境との調和を図る計画としています。

2．全ての人の利用への対応

緑豊かな自然環境のなかでウォーキングが可能なルートの整備を図るが、年齢や体力に応じて選択性のあるルートを整備します。

3．緩衝帯の設置

公園外周の植栽帯、疎林広場により、緩衝帯としての機能を確保することとしております。

4．住民参加・協働に留意

グラウンドゴルフ場の日常的な維持管理についてアダプトプログラムにより、グラウンドゴルフ協会が参加しています。また、今後、疎林広場に記念植樹ゾーンを設け、公園整備における住民参加、協働を進める予定であります。

5．自然環境を活かした公園整備のあり方

現況の樹林地内を活用して、市民の健康維持、増進に寄与するウォーキングルートを整備します。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第 3 条を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第 5 条第 1 項に該当すると判断されるため、当事業を継続したいと考えております。